

GIANT

Liv

momentum

—

E-BIKE

入門マニュアル

V10.0



目次

1 序文	2
2 安全上の注意事項	4
3 バイクのご利用	7
3.1 EnergyPak	7
3.1.1 使用開始にあたって	7
3.1.2 EnergyPak Smart インチューブ	7
3.1.3 EnergyPak Smart 内蔵型	8
3.1.4 EnergyPak Smart コンパクト	9
3.1.5 EnergyPak Smart サイドリリース	10
3.1.6 EnergyPak サイドリリース	10
3.1.7 EnergyPak キャリア	11
3.2 充電器	12
3.2.1 スマートチャージャー 4A 48V デュアル	12
3.2.2 スマートチャージャー 4A 36V デュアル	14
3.2.3 スマートチャージャー 6A 36V シングル	15
3.2.4 スマートチャージャー 4A 36V シングル	16
3.2.5 急速充電器 3A/4A 36V	17
3.2.6 充電	18
3.2.7 充電時間	21
3.3 コントロール	24
3.3.1 RideControl Ergo	24
3.3.2 RideControl Ergo 2	27
3.3.3 RideControl Ergo 3	31
3.3.4 RideControl Dash	33
3.3.5 RideControl GO	38
3.3.6 RideDash EVO	41
3.3.7 Shimano STI レバー	44
3.3.8 Sram AXS ボーナスボタン/ブリップ	45
3.3.9 サードパーティデバイス	45
3.4 キー	46
3.5 走行距離	46
4 運搬および保管	47
5 メンテナンス	49
6 廃棄	51
7 法的書類	52
7.1 保証	52
7.2 除外	53
7.3 適合性	53
7.4 免責事項	53

1 序文

ようこそ

この度は Giant、Liv、または Momentum の新しいEバイクをお買い上げいただきありがとうございます。ご購入いただいたEバイクの種類を問わず、すぐにEバイクに乗る楽しさをご体験いただけるでしょう。

本マニュアルのご使用方法

このマニュアル書は、ご購入いただいたEバイクについての簡単なご説明を目的としています。本文書には必須の安全情報、およびEバイクの主な構成部品や機能の一部について、概要をまとめました。Eバイクをご使用になる前に、ウェブサイトのサポートセクションにアクセスの上、サイトでご入手いただける広範囲な情報を閲覧やダウンロードしていただくことも重要です。Eバイク固有の情報のほか、バイクオーナーズマニュアルに記載の一般情報も必ずご一読ください。



本マニュアルに記載される図は、お使いのEバイクモデルの構成とは詳細が異なる場合があります。図は一般的な参照情報で、取扱説明を行うことのみを意図しています。

本マニュアルで使用されている記号



警告：安全に関する指示を守らない場合、死亡、重篤な身体損傷、深刻な物的損害につながる状況について警告します。



注意：安全に関する指示を守らない場合、身体損傷または物的損害につながる状況について警告します。



注記：問題を避けるために重要な情報を提供しています。



情報：付加的な情報を提供しています。

情報リソースとダウンロード



GIANT: <https://www.giant-bicycles.com/global/manuals>



LIV: <https://www.liv-cycling.com/global/manuals>



MOMENTUM: <https://www.momentum-biking.com/global/manuals>

その他、自転車部品および保証に関する情報は、一般的なバイクオーナーズマニュアルをご覧ください。

サービスおよびサポート

本マニュアルは、サービス、メンテナンスや修理に関する詳細な参照資料ではありません。サービスや技術サポートについては、取扱店/販売店にご連絡ください。



バイクで走行を開始する前に、このマニュアルのすべての情報をよくお読みください。安全上の注意事項は非常に重要ですので、見落とさないようにしてください。マニュアルを読むことで、一般的な操作についてよりよく理解できるようになります。

2 安全上の注意事項

自転車の安全な使用

一般道路でEバイクを使用する前に、電動アシスト付きバイクに乗り慣れるために、安全な場所で乗車してください。バイクのすべての設定を試し、乗車に慣れてください。



警告

- あらゆる状況に素早く対応できるように、走行中は必ず両手でハンドルバーを握り、ブレーキレバーがすぐに使える位置にあることを確認してください。注意を怠ると、自転車のコントロールを失う恐れがあります。
- ライディングの都度、ステアやブレーキといったバイクの技術的状态やすべての重要機能のライド前チェックを行います。
- バッテリーを正しい位置にしっかりと固定してください。
- 固定具はすべて正しくきっちりと締めるようにしてください。
- ライディング中に故障する可能性のある、摩耗、損傷したパーツがないことを確認してください。

バッテリーと充電器

バッテリーと充電器をお取り扱いの際は、以下の情報すべてをご確認ください。



警告

- バッテリーはお子様やペットの手の届かないところに置いてください。
- バッテリーと充電器は水や直火から離しておいてください。
- バッテリーと充電器は落としたり、大きな衝撃を受けることがないようにしてください。
- バッテリーは、Eバイクに装備された充電器、または正規ディーラーが販売するスペア/交換用充電器でのみ充電してください。
- バッテリーと充電器を他の目的で使用しないでください。
- バッテリー端子同士をつなぐことは絶対におやめください。
- 充電中にバッテリーと充電器を覆ったり、その上に物を置かないようにしてください。
- 充電中にバッテリーと充電器を放置しないでください。
- 異様な臭いや煙に気付いた場合、直ちに充電器とバッテリーの接続を外してください。
- 万が一、バッテリーに火がついた場合は、水で火を消そうとするのは絶対にやめてください。上から大量の砂をかけて火を覆い、直ちに救急隊を呼んでください。
- コイン電池:** コイン電池は危険です。お子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり体内に入れたりしないでください。飲み込んだり体内に入れたりすると、2時間以内に重傷または致命傷を負う可能性があります。これが発生した場合、またはその疑いがある場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 高温:** 素手で表面に触れないでください。重度の火傷を引き起こす可能性があります。





注意

充電操作中、バッテリーと充電器との接触を避けます。充電中は、充電器が熱くなることがあります。



注記

バッテリーの寿命が来た場合は、有害廃棄物として処理する必要があります。一般家庭ごみで廃棄することはできません。バッテリーの正しい廃棄については、担当の取扱店/販売店にお問い合わせください。

キャリア



警告

キャリアに載せた荷物やチャイルドシートが、メーカーの取扱説明に、従ってしっかり固定されていることを確認してください。また、ストラップや他の物がゆるんでいないことを確認し、タイヤに絡まることのないようにしてください。



注意

- 荷物を安全に載せることができるのは、キャリアのみです。バイクの他の部分には荷物を載せないでください。
- キャリアに物を積んでいる場合、自転車の動きが異なる場合があります (特にステアリングとブレーキ)。
- 最大リアキャリア積載重量(EnergyPak を含む): 22 kg。



注記

- 荷物をキャリアに載せた場合に隠れないよう、リフレクターとランプの位置を確認して調整するようお勧めします。
- 一部のバイクでは、バッテリーホルダーとキャリアが一体型となっています。バッテリーやホルダーの損傷の原因にならないように、荷物がしっかりと固定されていることを確認してください。



情報

荷物は、キャリアの両側に均等に分けて載せるようお勧めします。

付属品



注意

- ・取り付け、使用、安全に関する注意事項については、必ずチャイルドシートのメーカーの取扱説明書にしたがってください。絶対にチャイルドシートに合わせてEバイクに標準装備の部品を変更/改造しないでください。
- ・本書内に記載されているEバイクの積載重量や許可されている合計積載荷重を絶対に超えないでください。
- ・チャイルドシートの使用は、Eバイクの電気部品や機械部品にかかる負荷応力や摩耗の増加につながります。
- ・サドルの下のコイルスプリングが剥き出しになっているサドルが取り付けられたバイクでチャイルドシートを使用する場合、コイルスプリングにお子様の指が挟まり、お子様がけがをするリスクが非常に高くなります。お子様の指が挟まることを防ぐため、適切な対策を取ってください。
- ・キャリアに付属の説明書をよく読み、最寄りの取扱店/販売店に問い合わせるなど、取り付け、最大荷重、トルクの仕様、パーツの仕様、対応する最大ホイールサイズ、トレーラーおよびチャイルドシートの互換性などを必ず確認してください。
- ・メーカー、輸入業者および販売店の名前や住所、商標、モデル、製品バッチ番号または参照番号などに関する情報は、キャリアの書類またはキャリア本体に記載されている情報を確認してください。

3 バイクのご利用

3.1 EnergyPak

EnergyPak は、Eバイクシステムの動力源となる充電式バッテリーです。EnergyPak は、様々な形・サイズ、エネルギー容量、互換性のものを取り揃えています。Eバイクのモデルによって、色々な場所に取り付けることができます。EnergyPak は、Eバイクに装備された純正の充電器で充電してください。



注意

- ・ シールが壊れた製品は使用できません。適切なリサイクルのために直ちに返送してください。
- ・ EnergyPak をデバイスの温度が -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F) の間で使用してください。 0°C 以上で最適なパフォーマンスを発揮しますが、デバイスの温度が低いとパフォーマンスが低下することがあります。



注記

- ・ EnergyPak のタイプ、バージョンの一部は、本マニュアルに掲載されていません。
- ・ EnergyPak に関する詳しい情報は、ウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。
- ・ 各EnergyPak の正確な技術仕様などの詳細情報については、EnergyPak の印刷ラベルに記載されています。

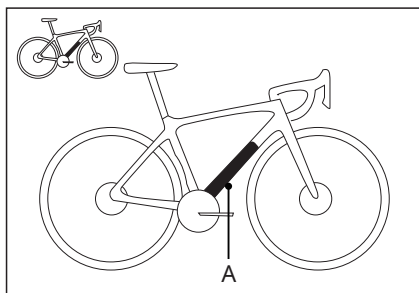
3.1.1 使用開始にあたって

- ・ 各 EnergyPak システムは、出荷前に工場で動作しないよう設定されています。
- ・ EnergyPak は、アクティベートするまでは機能しません。
- ・ EnergyPak を動作させるには、充電器で充電してください。
- ・ ご利用開始の前には、新しい EnergyPak をフル充電されることをお勧めします。
- ・ EnergyPak は、初回の使用時にはパフォーマンスを最大限発揮しないこともあります。
- ・ EnergyPak の性能は、(走行による)放電・再充電のフルサイクルを何度か経た後に安定します。

3.1.2 EnergyPak Smart インチューブ

部品の説明

A. EnergyPak



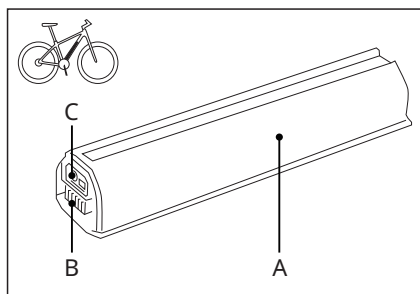
注記

安全上の理由から、EnergyPak Smart インチューブの取り外しまたは取り付けは、認定された整備士のみが行うようにしてください。

3.1.3 Energy Pak Smart 内蔵型

部品の説明

- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ



取り付けと取り外し

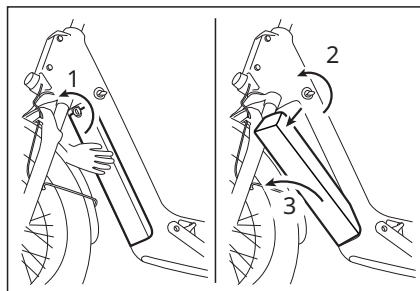
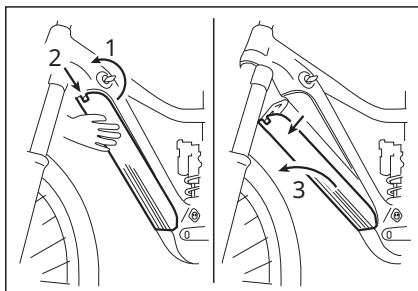


注記

EnergyPak を取り外す前に、必ず電源を切ってください。

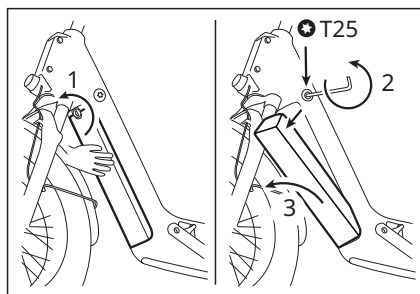
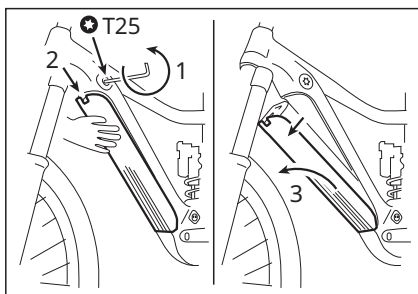
EnergyPak の取り外し (キーロックタイプ)

- ・ バッテリーカバーのツイストノブを緩め、ダウンチューブの下側からバッテリーカバーを取り外します。
- ・ フレームに内蔵されているバッテリー がロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- ・ キーを差し込み、EnergyPak のロックを解除します。EnergyPak がわずかに外側に外れます。
- ・ トップローディング内蔵型バッテリーのみ： EnergyPak を持ち上げて外します。
- ・ 落下防止保護レバーを押して EnergyPak のロックを完全に解除します。
- ・ バッテリーをバイクから取り外します。



EnergyPakの取り外し (トルクスロックタイプ)

- ・ バッテリーカバーのツイストノブを緩め、ダウンチューブの下側からバッテリーカバーを取り外します。
- ・ フレームに内蔵されているバッテリー がロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- ・ サイズ 25 のトルクスツールを差し込み、反時計回りに回して、EnergyPak のロックを解除します (ねじは取れない仕組みになっているため、ねじが完全に外れることはありません)。
- ・ 落下防止保護レバーを押して EnergyPak のロックを完全に解除します。
- ・ バッテリーをバイクから取り外します。



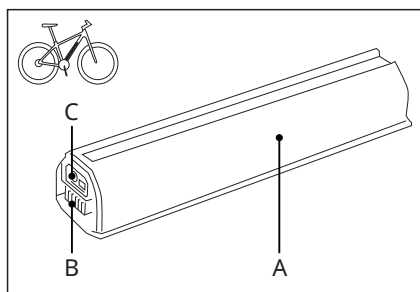
EnergyPak の取り付け

- ・ 取り外しと逆の手順で EnergyPak を取り付けます。
- ・ 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- ・ EnergyPak の上の部分を押し、EnergyPak が適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- ・ カバーを元に戻し、ツイストノブで固定します。
- ・ キー/トルクスツールを引き抜きます。

3.1.4 EnergyPak Smart コンパクト

部品の説明

- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ



取り付けと取り外し

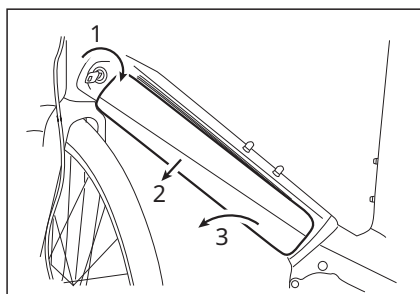


注記

EnergyPak を取り外す前に、必ず電源を切ってください。

EnergyPak の取り外し

- ・ フレームに内蔵されているバッテリー がロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- ・ キーを差し込み、EnergyPak のロックを解除します。
◦ EnergyPak がわずかに外側に外れます。
- ・ バッテリーをバイクから取り外します。



EnergyPak の取り付け

- ・ 取り外しと逆の手順で EnergyPak を取り付けます。
- ・ 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- ・ EnergyPak の上の部分を押し、EnergyPak が適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- ・ キーを抜きます。

3.1.5 EnergyPak Smart サイドリリース

部品の説明

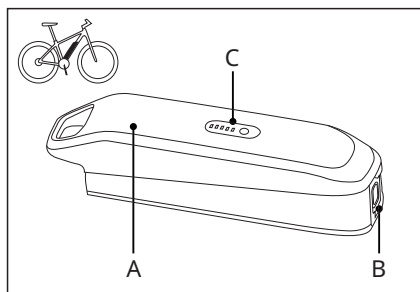
- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ

取り付けと取り外し



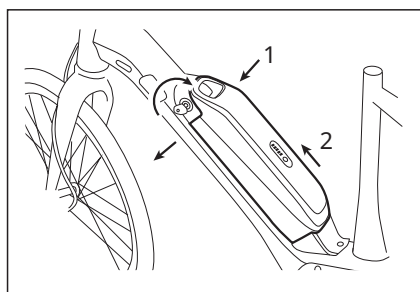
注記

EnergyPak を取り外す前に、必ず電源を切ってください。



EnergyPak の取り外し

- ・ フレームに内蔵されているバッテリー がロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- ・ キーを差し込み、EnergyPak のロックを解除します。EnergyPak がわずかに外側に外れます。
- ・ バッテリーをバイクから取り外します。



EnergyPak の取り付け

- ・ 取り外しと逆の手順で EnergyPak を取り付けます。
- ・ 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- ・ EnergyPak の上の部分を押し、EnergyPak が適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- ・ キーを抜きます。

3.1.6 EnergyPak サイドリリース

部品の説明

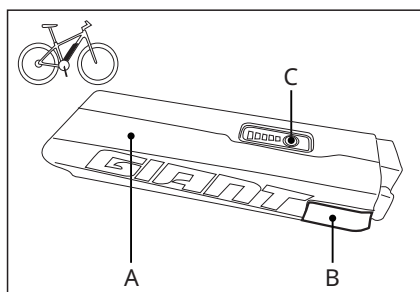
- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ

取り付けと取り外し



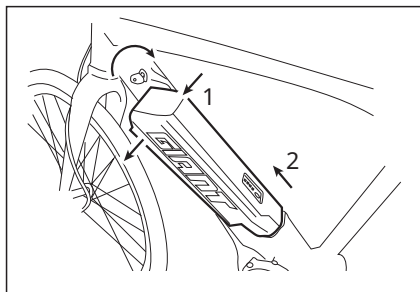
注記

EnergyPak を取り外す前に、必ず電源を切ってください。



EnergyPak の取り外し

- ・ フレームに内蔵されているバッテリー がロック解除中に落ちないようにバッテリーを持ちます。
- ・ キーを差し込み、EnergyPak のロックを解除します。
- ・ EnergyPak の上部を横方向へ引きます。
- ・ EnergyPak を持ち上げて、バイクから取り外します。



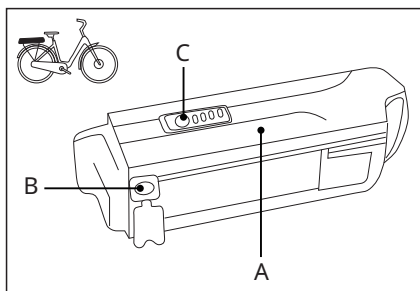
EnergyPak の取り付け

- ・ 取り外しと逆の手順で EnergyPak を取り付けます。
- ・ 下の部分でコネクターのスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- ・ EnergyPak の上の部分を押し、EnergyPak が適切に固定されたことを確認します(その最中、「カチッ」という音が聞こえます)。
- ・ キーを抜きます。

3.1.7 EnergyPak キャリア

部品の説明

- A. EnergyPak
- B. 充電用ソケット
- C. エネルギーレベルインジケータ



取り付けと取り外し



注記

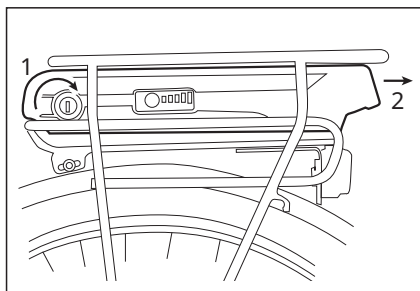
EnergyPak を取り外す前に、必ず電源を切ってください。

EnergyPak の取り外し

- ・ キーを差し込み、EnergyPak のロックを解除します。
- ・ グリップを掴み、EnergyPak を後方に引きます。
- ・ EnergyPak を引っ張り出します。

EnergyPak の取り付け

- ・ 取り外しと逆の手順で EnergyPak を取り付けます。
- ・ 下の部分でスロットが適切な位置に合わせられていることを確認します。
- ・ EnergyPak を前方に押し、EnergyPak が適切に固定されたことを確認します(固定の際に「カチッ」という音が聞こえます)。
- ・ キーを抜きます。



3.2 充電器



注意

E/バイク付属、または正規取扱店/販売店が提供する適切な充電器のみをご使用ください。



注記

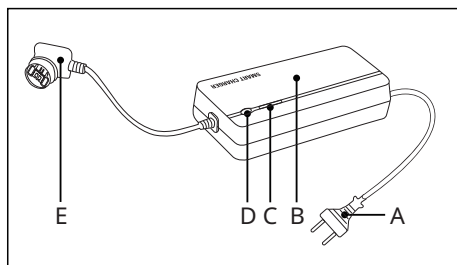
- ・ 充電器のタイプ、バージョンの一部は、本マニュアルに掲載されていません。充電器に関する詳しい情報は、ウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。
- ・ 正確な技術仕様などの詳細情報については、充電器の印刷ラベルに記載されています。

3.2.1 スマートチャージャー 4A, 48V, デュアル

4A スマートチャージャーは、大容量 EnergyPak 用の強力な充電器です。スマートチャージャーはバッテリーの内部状態を継続的に監視し、それに応じて充電プロセスを調整して、最速の充電速度と最大のバッテリー寿命を実現します。

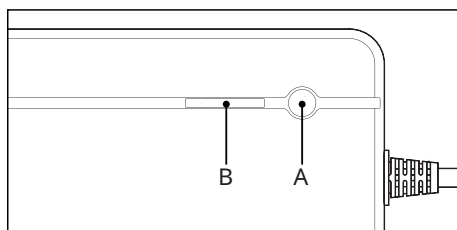
部品の説明

- A. AC ソケット (110V~240V)
- B. 充電器
- C. 60% 充電インジケーターLED / ボタン
- D. 100% 充電インジケーターLED
- E. 充電ソケット



LED ステータスの説明

- A. LED
- B. ボタン / LED



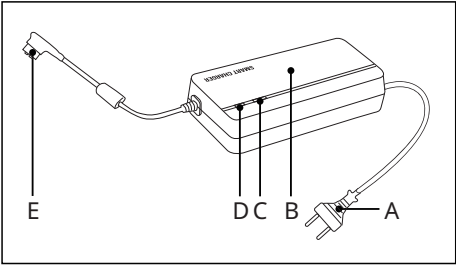
LED	色	動作	ステータス
A	赤 > 緑 > オフ	順序	電源オンセルフテスト
B	緑 > 紅 > オフ		
A	赤	点灯	バッテリー未接続
A	緑	点滅 (間隔0.5秒)	充電が有効
A	緑	点灯	充電完了
A	緑	ゆっくり点滅 (間隔1.0秒)	バッテリー充電過熱保護
B	黄	ボタン Bを押す	保管充電の有効化 (60%モード)
A	赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電圧保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電流保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過熱保護)
A	赤 > 緑 > オフ	順序	充電の問題 (短路保護)
B	緑 > 赤 > オフ		

充電に問題がある場合は、充電回路を確認し、充電器の AC 電源を切断し、LED が消えてから再度接続してください。

3.2.2 スマートチャージャー 4A, 36V, デュアル

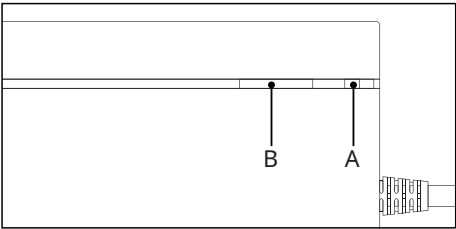
部品の説明

- A. AC ソケット
- B. 充電器
- C. ボタン
- D. LED
- E. 充電ソケット



LED ステータスの説明

- A. LED
- B. ボタン



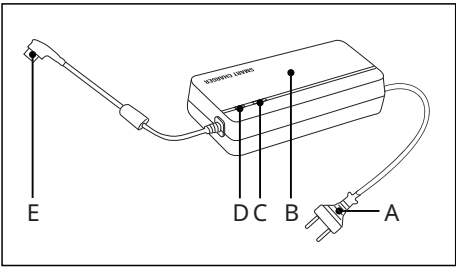
LED	色	動作	ステータス
A	赤 > 緑 > オフ	順序	電源オンセルフテスト
A	赤	点灯	バッテリー未接続
A	緑	点滅 (間隔0.5秒)	充電が有効
A	緑	点灯	充電完了
A	緑	ゆっくり点滅 (間隔1.0秒)	バッテリー充電過熱保護
A	黄	ボタンBを押す	保管充電の有効化 (60%モード)
A	赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電圧保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電流保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過熱保護)
A	赤 > 緑 > オフ	順序	充電の問題 (短路保護)

充電に問題がある場合は、充電回路を確認し、充電器の AC 電源を切断し、LED が消えてから再度接続してください。

3.2.3 スマートチャージャー 6A, 36V, シングル

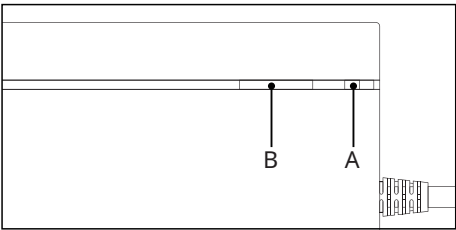
部品の説明

- A. AC ソケット
- B. 充電器
- C. ボタン / LED
- D. LED
- E. 充電ソケット



LED ステータスの説明

- A. LED
- B. ボタン / LED



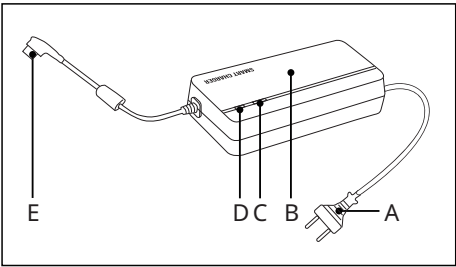
LED	色	動作	ステータス
A	赤 > 緑 > オフ	順序	電源オンセルフテスト
B	緑 > 赤 > オフ		
A	赤	点灯	バッテリー未接続
A	緑	点滅 (間隔0.5秒)	充電が有効
A	緑	点灯	充電完了
A	緑	ゆっくり点滅 (間隔1.0秒)	バッテリー充電過熱保護
B	黄 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	ボタン B を押す	保管充電の有効化 (60%モード)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) >	順序	充電の問題 (過電圧保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (1.5s) 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) >	順序	充電の問題 (過電流保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過熱保護)
A	赤0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (短路保護)

充電に問題がある場合は、充電回路を確認し、充電器の AC 電源を切断し、LED が消えてから再度接続してください。

3.2.4 スマートチャージャー 4A, 36V, シングル

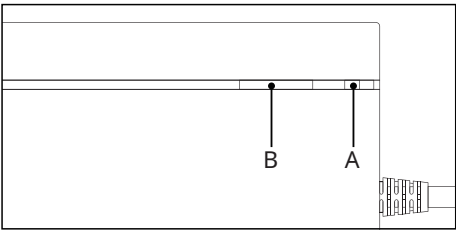
部品の説明

- A. AC ソケット
- B. 充電器
- C. ボタン
- D. LED
- E. 充電ソケット



LED ステータスの説明

- A. LED
- B. ボタン



LED	色	動作	ステータス
A	赤 > 緑 > 赤	順序	電源オンセルフテスト
A	赤	点灯	バッテリー未接続
A	緑	点滅 (間隔0.5秒)	充電が有効
A	緑	点灯	充電完了
A	緑	ゆっくり点滅 (間隔1.0秒)	バッテリー充電過熱保護
A	黄色	ボタン Bを押す	保管充電の有効化 (60%モード)
A	赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電圧保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過電流保護)
A	赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (0.5s) > 赤 (0.5s) > オフ (1.5s)	順序	充電の問題 (過熱保護)
A	赤 > 緑 > オフ	順序	充電の問題 (短路保護)

充電に問題がある場合は、充電回路を確認し、充電器の AC 電源を切断し、LED が消えてから再度接続してください。

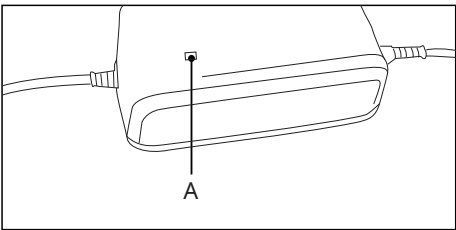
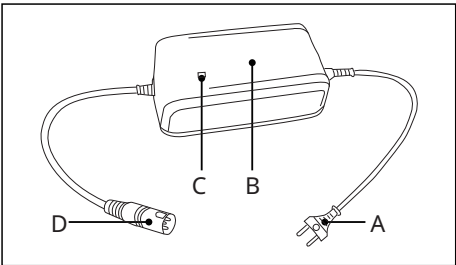
3.2.5 急速充電器 3A/4A, 36V

部品の説明

- A. AC ソケット
- B. 充電器
- C. LED
- D. 充電ソケット

LED ステータスの説明

- A. LED



LED	色	動作	ステータス
A	赤	点灯	充電が有効
A	赤	点滅 (間隔0.5秒)	充電の問題
A	緑	点灯	バッテリーなし バッテリーフル充電

3.2.6 充電



注意

- 接続する前に、必ずすべてのコネクターを正しく調整してください。
- EnergyPak をデバイスの温度が 0°C~45°C (32°F~113°F) の間で充電してください(推奨温度は 20°C/68°F)。
- 0°C(32°F) 以下または 45°C(113°F) 以上での充電は、充電不足になったり、バッテリーの寿命に悪影響を及ぼすことがあります。
- EnergyPakをバイクで充電する時は、バイクが安定してしっかりと立つことを確認してください。
- 充電器をバイクに接続した状態で、バイクに腰掛ける、バイクを動かす、クランクを回すことはしないでください。

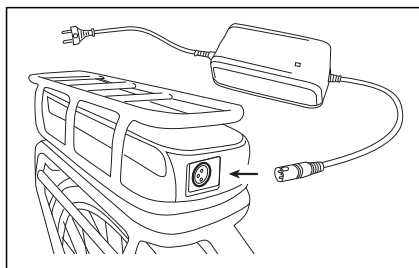
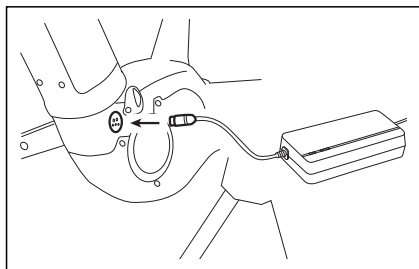
EnergyPak の取り付け

充電開始

- 充電器を EnergyPak の充電ポートに接続します。
- 充電器をACコンセントに接続します
- 充電が開始します。

充電終了

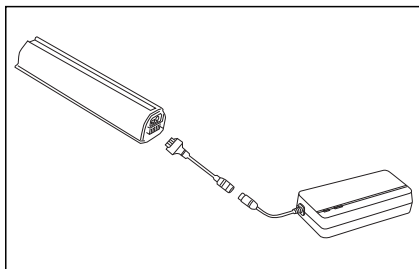
- AC コンセントから充電器を外します。
- 充電器をEnergyPakから外します。



EnergyPak の取り外し

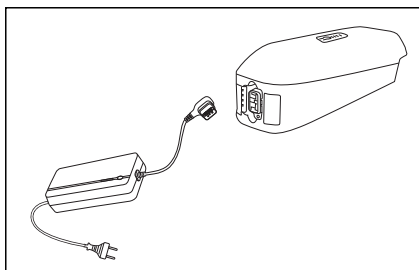
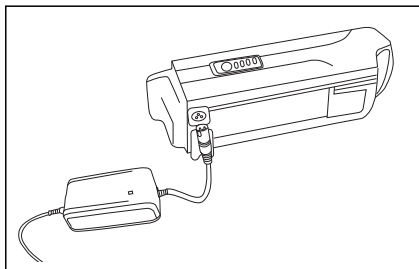
充電開始

- バイクから EnergyPak を取り外します。
- 充電器を EnergyPak の充電ポートに接続します。
- 充電器を AC コンセントに接続します
- 充電が開始します。



充電終了

- AC コンセントから充電器を外します。
- 充電器を EnergyPak から外します。
- EnergyPak を自転車に戻します。



注記

EnergyPak が完全に充電されたら、充電器を EnergyPak およびACコンセントから外します



情報

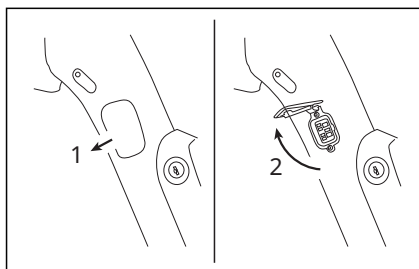
- 充電器の LED が充電プロセスの状態を表示します。
- EnergyPak の LED インジケータに、現在のエネルギーレベルが表示されます。
- 充電はいつでも終了/中断できます。

EnergyPak Smart サイドリリース

EnergyPak Smart サイドリリースにはスタンバイモードを維持する機能があり、ディスプレイに追加の充電フィードバックが表示されます。バイクに取り付けられた EnergyPak を使用してオンボード充電を行うには、Eバイクシステムのスイッチをオンにする必要があります。

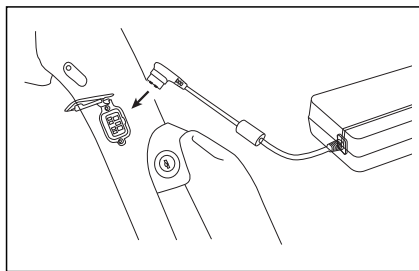
充電の開始

- ・ オン/オフボタンを押して、Eバイクの電源を入れます
- ・ 充電ポートのカバーを引きます。
- ・ 充電器をバイクの充電ポートに接続します。
- ・ 充電器を AC コンセントに接続します。
- ・ 画面または充電器の LED をチェックして、充電が有効になっていることを確認してください。



充電の停止

- ・ 充電器を AC コンセントから切断します。
- ・ 充電器を EnergyPak から切断します。
- ・ EnergyPak をバイクに戻します。



注記

EnergyPak が完全に充電されたら、充電器を EnergyPak および AC コンセントから外します



情報

- ・ 充電する前にオン/オフボタンを押して、Eバイクの電源を入れます。
- ・ EnergyPak の LED インジケーターは、現在のバッテリーレベルを示します。
- ・ ディスプレイには現在のバッテリーレベルが表示されます。

3.2.7 充電時間

EnergyPak Smart インチューブ 36V

容量		400 Wh		250 Wh	
充電器		6A	4A	6A	4A
	0~60%	1:20 h	1:40 h	1:20 h	1:20 h
充電	0~80%	2:00 h	2:30 h	2:00 h	2:00 h
	0~100%	4:30 h	4:50 h	3:30 h	3:30 h
スマート充電		●		●	
保管モード (60%)		●		●	

EnergyPak Smart 内蔵型 36V / 48V

36V							
容量		800 Wh		750 Wh		625 Wh	
充電器		6A	4A	6A	4A	6A	4A
	0~60%	2:15 h	3:30 h	2:10 h	2:50 h	1:50 h	2:30 h
充電	0~80%	3:10 h	4:40 h	2:55 h	3:50 h	2:35 h	3:30 h
	0~100%	5:40 h	7:20 h	5:10 h	6:40 h	4:40 h	5:50 h
スマート充電		●		●		●	
保管モード (60%)		●		●		●	

36V						48V
容量		500 Wh		400 Wh		780 Wh
充電器		6A	4A	6A	4A	4A
	0~60%	1:30 h	2:00 h	1:20 h	1:50 h	2:45 h
充電	0~80%	2:10 h	2:50 h	2:00 h	2:30 h	3:50 h
	0~100%	4:10 h	5:10 h	4:30 h	4:50 h	5:20 h
スマート充電		●		●		●
保管モード (60%)		●		●		●

EnergyPak Smart コンパクト 36V

容量		500 Wh		375 Wh	
充電器		6A	4A	6A	4A
	0~60%	1:30 h	2:00 h	1:20 h	1:50 h
充電	0~80%	2:10 h	2:50 h	2:00 h	2:30 h
	0~100%	4:10 h	5:10 h	4:30 h	4:50 h
スマート充電		●		●	
保管モード (60%)		●		●	

EnergyPak Smart サイドリリース 36V

容量		600 Wh		500 Wh	
充電器		4A		4A	
	0~60%	2:30 h		2:00 h	
充電	0~80%	3:30 h		2:50 h	
	0~100%	5:50 h		5:10 h	
スマート充電		●		●	
保管モード (60%)		●		●	

EnergyPak サイドリリース 36V

容量		250 Wh	
充電器		6A	4A
	0~60%	1:20 h	1:20 h
充電	0~80%	2:00 h	2:00 h
	0~100%	3:30 h	3:30 h
スマート充電		●	
保管モード (60%)		●	

		500 Wh		400 Wh	
AC voltage		110 V	200~240 V	110 V	200~240 V
0~80%		3:40 h	2:45 h	3:00 h	2:00 h
0~100%		7:20 h	5:00 h	6:00 h	4:30 h
スマート充電		-		-	
保管モード (60%)		-		-	

EnergyPak プラス 36V

容量		250 Wh		200 Wh	
充電器		6A	4A	6A	4A
	0~60%	1:20 h	1:20 h	2:10 h	2:10 h
充電	0~80%	2:00 h	2:00 h	2:50 h	2:50 h
	0~100%	3:30 h	3:30 h	4:10 h	4:10 h
スマート充電		●		●	
保管モード (60%)		●		●	

EnergyPak トッププル・キャリア 36V

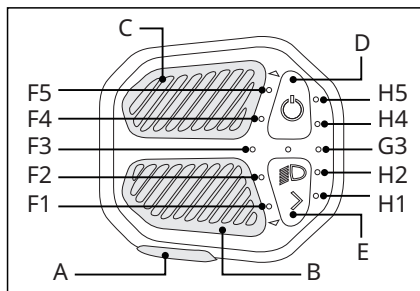
	EnergyPak 500		EnergyPak 400		EnergyPak 300	
AC voltage	110 V	200~240 V	110 V	200~240 V	110 V	200~240 V
0~80%	3:40 h	2:45 h	3:00 h	2:00 h	2:20 h	1:45 h
0~100%	7:20 h	5:00 h	6:00 h	4:30 h	4:40 h	3:30 h
スマート充電	-		-		-	
保管モード (60%)	-		-		-	

3.3 コントロール

3.3.1 RideControl Ergo

RideControl Ergo は、電源のオン/オフ、アシストレベル、スマートアシスト、ウォークアシスト、照明などの操作が簡単なコントロールを備えた人間工学に基づいたレイアウトを提供します。明るいLEDインジケータや RideDash EVO などの画面により、視覚によるフィードバックを提供します。スマートフォンの RideControl アプリとEバイクを接続すれば、さらに多くの機能が利用できます。アップデートによりそれらの機能はさらに拡張していきます。

- A. ウォークアシスト
- B. アシスタンスレベルダウン
- C. アシスタンスレベルアップ
- D. 電源オン/オフ
- E. ライト/情報
- F. パワーアシストインジケータ (LED5個)
- G. ライトインジケータ (白)/エラーインジケータ (赤)
- H. バッテリー残量インジケータ (LED5個)



電源オン/オフ

- ・「電源オン/オフ」ボタン (D) を押して、システムの電源を入れます。
- ・「電源オン/オフ」ボタン (D) を 1.5 秒以上押し続け、ボタンを離してシステムの電源を切ります。
- ・ライトインジケータ LED (G) が 3 回点滅し、バイクの電源がオフになっていることを示します。

パワーアシスト

スマートアシスト(AUTO)

- ・ SyncDrive モーターが状況に合わせて出力を自動で調整し、快適性と走行距離を最適化します。
- ・「アシストレベルアップ」(C) または「アシストレベルダウン」ボタン (B) を 2 秒間押し続けると、スマートアシストが有効になります。
- ・パワーアシスト表示 LED (F3) が点灯し、スマートアシストが有効であることを示します。
- ・ RideDash が接続されている場合、スマートアシストレベルは画面上に「AUTO」と表示されます。
- ・「アシストレベルアップ」(C) または「アシストレベルダウン」ボタン (B) を押して、手動アシストレベル選択に戻ります。



情報

スマートアシストモードは一部のモデルではご利用いただけません。

アシストレベル 1-5

電動アシストレベルを手動で選択します。

- ・「アシストレベルアップ」(C) または「アシストレベルダウン」ボタン(B) を押して、アシストレベルを変更します。
- ・パワーアシストインジケーター LED (F1～F5) が点灯し、選択したレベルを示します。
- ・F1 は、パワーアシストが最小のレベルを示し、距離範囲が最大のレベルになります (ECOレベル)。
- ・F5 は、パワーアシストが最強のレベルを示し、エネルギー消費量が最も高くなります (POWERレベル)。

アシストオフ

電動アシストを使用せず、サイクルコンピューターとライト機能を使用して走行する場合です。

- ・すべてのパワーアシストインジケーター LED (F) がオフになるまで、「アシストレベルダウン」ボタン(B) を押します。
- ・モーターアシストがオフになります。
- ・他のすべてのシステム機能は使用することができます。

ウォークアシスト

最高で (6 km/h4 mph) の速度に対応します。ウォークアシストは、最も低いギアで最も強力です。つまり、前部に最小のチェーンリング、後部に最大のスプロケットを配置しています。

- ・「ウォークアシスト」ボタン (A) を押して、ウォークアシストスタンバイを設定します。
- ・パワーアシストインジケーター LED (F) が前後に点灯します。
- ・「アシストレベルアップ」ボタン (C) を最大で 3 秒押し続けると、ウォークアシストが作動します。
- ・「アシスタンスレベルアップ」ボタン (C) を放すと、ウォークアシストが停止または一時停止します。3 秒以内にもう一度押すと、再び起動します。
- ・他のいずれかのボタンを押すと、すぐに通常のライディングモードに戻ります。



情報

- ・「ウォークアシスト」ボタン (A) を押してから 3 秒以内に他のアクションが実行されない場合、システムは通常のライディングモードに戻ります。
- ・一部の国では、地域の規制によりウォークアシスト機能をご利用いただけません。

ライト

- ・「ライト/情報」ボタン (E) を 2 秒間押し続けて、バイクのライトのオンとオフを切り替えます。
- ・ライトがオンになると、ライトインジケーター (G) が点灯します。
- ・S-Pedelec (高速Eバイク) では、バイクのライトはオフにすることはできません。
- ・「ライト/情報」ボタン (E) は、ロービームとハイビームを切り替えます。
- ・バイクのライトを点灯すると、RideDash EVO 画面のバックライトは暗くなります。

バッテリー残量インジケータ

EnergyPak の残りのエネルギーレベルは、バッテリーレベルインジケーター LED (H1-H5) で示されます。各 LED は、EnergyPak の容量の 20% を表しています。

- バッテリーの電力が 10% 未満になると、LED H1 が白からオレンジに変わります。
- バッテリーの電力が 3% 未満になると、LED H1 がオレンジ色に点滅します。最低アシストレベルに切り替わります。
- バッテリーの電力が 1% 未満になると、パワーアシストがシャットダウンします。それでも、ライトシステムは少なくとも 2 時間は機能し続けます。

情報ボタン

RideDash または他の互換性のある自転車コンピューターがシステムに接続されている場合、ライト/情報ボタン (E) を使用してさまざまな画面機能を制御することもできます。利用可能な機能は接続されているデバイスによって異なります。

システムイベント

システムイベント (誤動作) の場合、RideControl はイベントの表示を表示します。ほとんどのシステムイベントでは、電動アシストは停止します。照明インジケーター (G) が赤く点滅します。パワーアシストレベルインジケーターの 1 つ (F1 - F5) がイベントインジケーターとして点滅し始めます。

イベントの説明:

- F5: 熱の問題
- F4: 該当なし
- F3: 速度センサーの問題
- F2: モーターの問題
- F1: バッテリーの問題

クイックトラブルシューティングの手順

1. どのパワーアシストレベルインジケーターが点滅しているかに注意してください (F1-F5)。
2. システムの電源を切ります。
3. 明らかに原因と考えられる箇所を目で確認します。
4. 安全に行うことが可能であれば、その問題の原因を取り除きます (例: 誤って設置されていたバッテリーの再度取り付け)。
5. システムの電源を入れ直します。

問題が解決している場合:

- 通常に使用することができます。
- 正規取扱店/販売店での定期点検の予定を組みます。

問題が解決しない場合:

- 手順1〜5 を繰り返します。

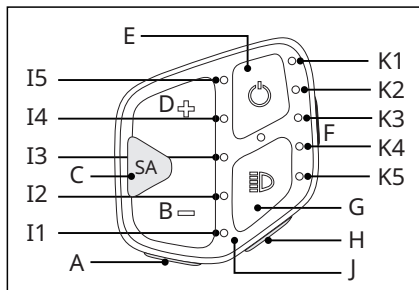
それでも問題が解決しない場合:

- 走行を中止します。
- 正規取扱店/販売店に連絡し、修理を依頼します。

3.3.2 RideControl Ergo 2

RideControl Ergo 2 は、電源のオン/オフ、アシストレベル、スマートアシスト、ウォークアシスト、照明などの操作が簡単なコントロールを備えた人間工学に基づいたレイアウトを提供し、USB 充電ポートにより便利に充電できます。明るいLEDインジケータや RideDash EVO などの画面により、視覚によるフィードバックを提供します。スマートフォンの RideControl アプリとEバイクを接続すれば、さらに多くの機能が利用できます。アップデートによりそれらの機能はさらに拡張していきます。

- A. 情報
- B. アシスタンスレベルダウン
- C. スマートアシスト (AUTO機能)
- D. アシスタンスレベルアップ
- E. 電源オン/オフ
- F. USB-C ポート
- G. ライト/スクリーンバックライト
- H. ウォークアシスト
- I. パワーアシストインジケータ (LED 5 個)
- J. ライトインジケータ (白)/エラーインジケータ (赤)
- K. バッテリー残量インジケータ (LED 5 個)



電源オン/オフ

- ・「電源オン/オフ」ボタン (E) を押して、システムの電源を入れます。
- ・「電源オン/オフ」ボタン (E) を 1.5 秒以上押し続け、ボタンを放してシステムの電源を切ります。
- ・ライトインジケータ LED (J) が 3 回点滅し、バイクの電源がオフになっていることを示します。

パワーアシスト

スマートアシスト (AUTO)

SyncDrive モーターが状況に合わせて出力を自動で調整し、快適性と走行距離を最適化します。

- ・「スマートアシスト」ボタン (C) を押して、スマートアシストを有効にします。
- ・パワーアシスト表示 LED (I3) が点灯し、スマートアシストが有効であることを示します。
- ・RideDash が接続されている場合、スマートアシストレベルは画面上に「AUTO」と表示されます。
- ・「アシストレベルアップ」(D) または「アシストレベルダウン」ボタン (B) を押して、手動アシストレベル選択に戻ります。



情報

スマートアシストモードは一部のモデルではご利用いただけません。

アシストレベル 1-5

電動アシストレベルを手動で選択します。

- ・「アシストレベルアップ」(D) または「アシストレベルダウン」ボタン (B) を押して、アシストレベルを変更します。
- ・パワーアシストインジケーター LED (I1-I5) は、選択したレベルを示します。
- ・I1 は、パワーアシストが最小のレベルを示し、距離範囲が最大のレベルになります (ECO レベル)。
- ・I5 は、パワーアシストが最強のレベルを示し、エネルギー消費量が最も高くなります (POWER レベル)。

アシストオフ

電動アシストを使用せず、サイクルコンピューターとライト機能を使用して走行する場合です。

- ・すべてのパワーアシストインジケーター LED (I) が消灯するまで、「アシストレベルダウン」(B) ボタンを押します。
- ・モーターアシストがオフになります。
- ・他のすべてのシステム機能は使用することができます。

ウォークアシスト

ウォークアシスト機能は、バイクを押して歩く時にアシストします。最高で 6 km/h (4 mph) の速度に対応します。ウォークアシストは、最も低いギアで最も強力です。つまり、前部に最小のチェーンリング、後部に最大のスプロケットを配置しています。

- ・「ウォークアシスト」ボタン (H) を押して、ウォークアシストスタンバイを設定します。
- ・パワーアシストインジケーターが前後に点灯します。
- ・「アシストレベルアップ」ボタン (D) を最大で 3 秒押し続けると、ウォークアシストが作動します。
- ・「パワーアシストアップ」ボタン (D) を放すと、ウォークアシストを停止または一時停止します。3 秒以内にもう一度押すと、再び起動します。
- ・他のいずれかのボタンを押すと、すぐに通常のライディングモードに戻ります。



情報

- ・ 如果按下「歩行補助」按钮(H)之后 3 秒内未执行其他动作，系统将返回至正常骑乘模式。「ウォークアシスト」ボタン (H) を押してから 3 秒以内に他のアクションが実行されない場合、システムは通常のライディングモードに戻ります。
- ・ 一部の国では、地域の規制によりウォークアシスト機能をご利用いただけません。

ライト

- ・「ライト」ボタン (G) を 2 秒間押し続けて、自転車のライトのオンとオフを切り替えます。
- ・ライトがオンになると、ライトインジケーター (J) が点灯します。
- ・S-Pedelec (高速Eバイク) では、バイクのライトはオフにすることはできません。「ライト/情報」ボタン (G) は、ロービームとハイビームを切り替えます。
- ・「ライト」ボタン (G) を押して、RideDash EVO 画面のバックライトを明・暗・オフに切り替えます。

バッテリー残量インジケータ

EnergyPak の残りのエネルギーレベルは、バッテリーインジケータ LED(K1-K5) で示されます。各 LED は、EnergyPak の容量の 20% を表しています。

- バッテリーの電力が 10% 未満になると、LED K5 が白からオレンジに変わります。
- バッテリーの電力が 3% 未満になると、LED K5 がオレンジ色に点滅します。最低アシストレベルに切り替わります。
- バッテリーの電力が 1% 未満になると、パワーアシストがシャットダウンします。それでも、ライトシステムは少なくとも 2 時間は機能し続けます。

情報ボタン

「情報」ボタン (A) は、RideDash または他の互換性のある自転車コンピューターのさまざまな画面機能を制御するために使用されます。利用可能な機能は接続されているデバイスによって異なります。

USB-C ポート

USB-C ポート (F) は、スマートフォン、バイク用ライト、バイク用コンピューターなどの外部デバイスに電力を供給したり充電したりするために使用できます。

- USB-C ポートを使用するには、爪でカバーを持ち上げます。デバイスに合うケーブル (同梱されていません) を使って接続します。
- ポートは、電源 (5V/1.5A) 用のみです。データ転送には使用できません。



注意

- USB-C ポートは、雨天または湿度が高い環境では使用しないでください。
- USB-C ポートに水・泥・埃などが入らないようにしてください。
- USB-C ポートを使用しない場合は、USB ポートカバーをきちんと閉めてください。

システムイベント

システムイベント (誤動作) の場合、RideControl II はイベントの表示を表示します。ほとんどのシステムイベントでは、電動アシストは停止します。点灯インジケータ (J) が赤く点滅します。パワーアシストインジケータ LED (I1-I5) は、選択したレベルを示します。

イベントの説明:

- I5: 熱の問題
- I4: 該当なし
- I3: 速度センサーの問題
- I2: モーターの問題
- I1: バッテリーの問題

クイックトラブルシューティングの手順

1. どのパワーアシストインジケータ LED が点滅しているかに注意してください (I1-I5)。
2. システムの電源を切ります。
3. 明らかに原因と考えられる箇所を目で確認します。
4. 安全に行うことが可能であれば、その問題の原因を取り除きます (例: 誤って設置されていたバッテリーの再度取り付け)。
5. システムの電源を入れ直します。

問題が解決している場合:

- ・ 通常に使用することができます。
- ・ 正規取扱店/販売店での定期点検の予定を組みます。

問題が解決しない場合:

- ・ 手順 1-5 を繰り返します。

それでも問題が解決しない場合:

- ・ 走行を中止します。
- ・ 正規取扱店/販売店に連絡し、修理を依頼します。

3.3.3 RideControl Ergo 3

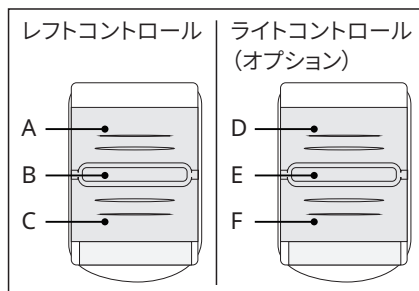
この最新の制御システムは、ハンドルバーグリップと統合できるクリーンなボタンを備えています。左側のハンドルバーにある RideControl Ergo 3 は、アシスタンスレベルとウォークアシストモードを制御するために使用します。オプションの2番目の RideControl Ergo 3 は、右側のハンドルバーグリップに取り付けられており、ライト、スマートアシスト、RideDash EVO の表示機能などの機能を制御するために使用できます。この機能は、RideControl App (v1.8.1以降) を使用して設定できます。



情報

RideControl Ergo 3 は、RideControl Go と一緒にインストールする必要があります。

- A. アシスタンスレベルアップ
- B. ウォークアシスト
- C. アシスタンスレベルダウン
- D. ライト
- E. スマートアシスト
- F. 情報



パワーアシスト

スマートアシスト(AUTO)

SyncDrive モーターが状況に合わせて出力を自動で調整し、快適性と走行距離を最適化します。

- ・「スマートアシスト」ボタン (E) または「アシストレベルアップ」ボタン (A) または「アシストレベルダウン」ボタン (C) を 3 秒間押し続けると、スマートアシストがアクティブになります。



情報

スマートアシストモードは一部のモデルではご利用いただけません。

アシストレベル 1-5

アシストレベルを手動で選択する方法。

- ・「アシストレベルアップ」(A) または「アシストレベルダウン」(C) を押して、アシストレベルを変更します。

ウォークアシス

ウォークアシスト機能は、バイクとの歩行を支援します。最高で 6 km/h (4 mph) の速度に対応します。ウォークアシストは、最も低いギアで最も強力です。つまり、前部に最小のチェーンリング、後部に最大のスプロケットを配置しています。

- ・「ウォークアシスト」ボタン (B) を押して、ウォークアシストスタンバイを設定します。RideControl GO の LED B1~B5 が白く点滅します。
- ・「アシストレベルアップ」ボタン (A) を最大で 3 秒押し続けると、ウォークアシストが作動します。
- ・「アシスタンスレベルアップ」ボタン (A) を放すと、停止または一時停止します。
- ・「アシスタンスレベルアップ」ボタン (A) をもう一度最大で3秒押し続けて、再度接続します。
- ・ RideControl Ergo 3 のいずれかのボタンを押すと、すぐに通常のライディングモードに戻ります。



情報

- ・「ウォークアシスト」ボタンを押してから 3 秒以内に他のアクションが実行されない場合、システムは通常のライディングモードに戻ります。
- ・一部の国では、地域の規制によりウォークアシスト機能をご利用いただけません。

ライト

- ・「ライト」ボタン (D) を押して、バイクのライトのオンとオフを切り替えます。
- ・バイクのライトを点灯すると、RideDash EVO 画面のバックライトは暗くなります。
- ・S-Pedelec (高速電動バイク) では、バイクのライトをオフにすることはできません。「ライト」ボタン (G) は、ロービームとハイビームを切り替えます。



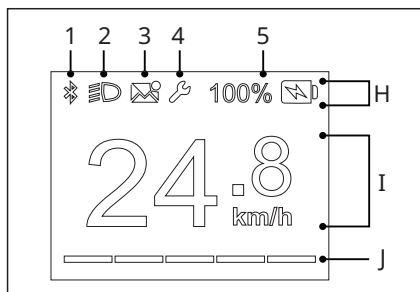
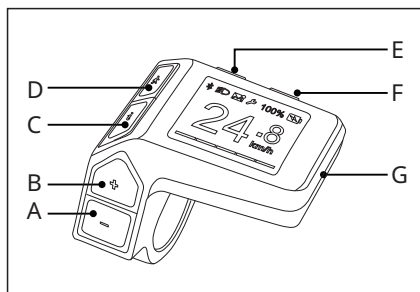
情報

「インフォメーション」ボタン (F) は、「RideDash」、「RideControl Dash」、またはシステムに接続されているその他の互換性のあるバイクのコンピューターのさまざまな画面機能を制御するために使用されます。特定の機能は、接続されているデバイスによって異なります。

3.3.4 RideControl Dash

RideControl Dash はカラーディスプレイ画面搭載のリモートコントローラーで、EnergyPak、SyncDrive モーター、センサー、ライト、接続されているその他のEコンポーネントからのバイクやライドに関する幅広い情報を表示します。人間工学に基づいて左のハンドルバグリップに取り付けます。1つのコンパクトなユニットでありながら、RideControl Ergo リモートコントローラーや RideDash EVO の様々な機能を提供することができます。

- A. アシスタンスレベルダウン
 - B. アシスタンスレベルアップ
 - C. 情報
 - D. ウォークアシスト
 - E. 電源オン/オフ
 - F. ライト/スクリーンバックライト
 - G. USB-Cポート
 - H. ステータスバー
 - I. データフィールド
 - J. パワーアシストレベルインジケーター
1. ワイヤレス接続
 2. ライトステータス
 3. 電話通知
 4. サービス
 5. バッテリーステータス



情報

一部の国では、地域の規制によりウォークアシスト機能をご利用いただけません。

電源オン/オフ

- ・「電源オン/オフ」ボタン (E) を押して、システムの電源を入れます。
- ・「電源オン/オフ」ボタン (E) を 2 秒間押して、システムの電源を切ります。

パワーアシスト

スマートアシスト(AUTO)

スマートアシスト (AUTO) モードでは、SyncDrive モーターが自動的に出力を状況に合わせて調整し、乗り心地と航続距離を最適化します。

- ・「アシストレベルアップ」ボタン (B) または「アシストレベルダウン」ボタン (A) を 2 秒間押し続けると、スマートアシストが有効になります。

アシストレベルを手動で選択する方法

- ・「アシストレベルアップ」(B)または「アシストレベルダウン」ボタン(A)を押して、アシストレベルを変更します。
- ・パワーアシストレベルインジケータ(J)は選択したレベルを示します。

画面には、新しいアシストレベル名および推定航続可能距離が2秒間表示されます。その後、画面は更新されたレベルインジケータに戻ります。

画面

ステータスバー

ステータスバー(H)には、常にバッテリーの状態(5)が表示されます。その他のアイコン(1-4)は、機能がアクティブの場合にのみ表示されます。

1. ワイヤレス接続: RideControl アプリを利用したバイクとスマートフォン間のアクティブなワイヤレス接続を示します。
2. ライトステータス: ライトのアイコンは、バイクのライトが点灯していることを示します。
3. 通知: スマートフォンに新規または未読のメッセージがあることを示します。RideControl アプリ経由のみです。
4. サービスインジケータ: サービスインジケータ(レンチのアイコン)は、定期メンテナンスの時期になった場合、またはシステムイベント(不具合)が発生した場合に表示されます。
5. バッテリー残量インジケータ: バッテリー残量インジケータは、EnergyPakの現在の充電残量100%~0%が表示されます。
 - ・ バッテリー残量が3%以下になると、バッテリーのアイコンが点滅し始めます。最低アシストレベルに切り替わります。
 - ・ バッテリー残量が1%以下になると、バッテリーのアイコンが点滅します。電動アシストはシャットダウンされます。それでも、ライトシステムは少なくとも2時間は機能し続けます。



情報

- ・ 本マニュアルに記載される RideControl アプリの機能の一部は、現時点ではご利用いただけない場合があります。アプリのバージョン、Eバイクのモデル、コンポーネントのハードウェア/ファームウェアのバージョン、スマートフォンの使用、オペレーティングシステムなどにより、互換性およびご利用いただける機能が異なる場合があります。
- ・ RideControl Dash の曇り:
RideControl ディスプレイの曇りは、急激な温度変化によって引き起こされる自然現象であり、ディスプレイパネルと防水コーティングされた PCB の間に閉じ込められた空気から結露が発生したものです。これは多くの類似製品によく見られる現象であり、欠陥や防水の問題を示すものではありません。ディスプレイを交換しても曇りは防止できません。曇りは一時的なもので、ディスプレイのパフォーマンスに影響を与えることなく、温度が安定すると消えます。ご不明な点やサポートについては、正規販売店にお問い合わせください。

データフィールド (I)

データフィールド (I) は、特定の情報を表示するための単一のデータフィールドです。

データフィールドのオプション:

- SPEED: 現在の走行速度 (デフォルト)
- RANGE: 現在のアシストレベルでの推定残存走行距離。
- ODO: 使用開始時から今までの総走行距離。
- DISTANCE: 最後にリセットした時からの走行距離。
- TRIP TIME: 最後にリセットした時からの走行時間。
- AVG SPEED: 最後にリセットした時からの平均速度。
- MAX SPEED: 最後にリセットした時からの最高速度。
- CADENCE: 現在のペダリング速度 (単位は rpm、一分間当りの回転数)。



情報

- 地形の特性、風の強さ・方向など、走行中の様々な状況により、実際の走行距離は異なる場合があります。
- ボタン (C) を押して、別のデータフィールドに変更します。画面に新しいフィールドの説明が2秒間表示された後、新しいフィールドに切り替わります。

パワーアシストレベルインジケーター

パワーアシストレベルインジケーター (J) は、現在選択されているアシストレベルを、色が異なる 5 本のバーの列として視覚的に表します。

アシストレベルのオプション:

- オフ
- エコ
- ツアー
- アクティブ
- スポーツ
- パワー
- スマートアシスト (AUTO)



情報

アシストレベルの可用性とレベルごとの電力比は、SyncDrive モーターのタイプと工場のシステム設定によって異なります。

ウォークアシスト

- ・ウォークアシスト機能は、バイクを押して歩く時にアシストします。ウォークアシストは 6 km/h (4mph) の速度で動作し、最も低い (最も簡単な) ギアで最も強力です。
- ・「ウォークアシスト」ボタン (D) を押して、ウォークアシストスタンバイを設定します。
- ・「アシストレベルアップ」ボタン (B) を最大で 3 秒押し続けると、ウォークアシストが作動します。
- ・「アシスタンスレベルアップ」ボタン (D) を放すと、ウォークアシストが停止または一時停止します。3 秒以内にもう一度押すと、再び起動します。
- ・他のいずれかのボタンを押すと、すぐに通常のライディングモードに戻ります。



情報

「ウォークアシスト」(D) ボタンを押してから 3 秒以内に他のアクションが実行されない場合、システムは通常のライディングモードに戻ります。

ライト/画面の明るさ

- ・「ライト/情報」ボタン (F) を 2 秒間押し続けて、自転車のライトのオンとオフを切り替えます。
- ・ライトがオンになると、ライトインジケーター (2) が点灯します。
- ・「ライトボタン」(F) を繰り返し押して、画面の明るさを低・中・高の間で変更します。

USB-C ポート

USB-C ポート (G) は、スマートフォン、バイク用ライト、バイク用コンピューターなどの外部デバイスに電力を供給または充電 (5 V/1.5 A) するために使用できます。

- ・USB ポートにアクセスするには、隅を引き上げてカバーを持ち上げます。
- ・適切なケーブル (付属していません) を使用してデバイスを接続します。
- ・使用後は、USB ポートカバーを正しく閉じてください。



注意

- ・USB ポートは単なる電源コンセントです。データ転送には使用できません。
- ・濡れた状態や湿った状態で USB ポートを使用しないでください。
- ・液体、泥、汚れが USB ポートに入らないようにしてください。

設定

ディスプレイ単位の変更(メートル/ヤード・ポンド)

- ・「情報」ボタン (C) を 5 秒間押し続けます。

サブデータフィールドのリセット

- ・DIST、TRIP、AVGスピード をクリアするには：
 - ・「アシスタンスレベルアップ」(B) ボタンと「アシスタンスレベルダウン」(A) ボタンを同時に 3 秒間押し続けます。

- MAX スピード をクリアするには：
 - MAX スピード データフィールドまでスクロールします。
 - 「アシスタンスレベルアップ」(B) ボタンと「アシスタンスレベルダウン」(A) ボタンを同時に 3 秒間押し続けます。

システムイベント

不具合が発生すると、システムイベント警告画面が表示されます。

- 警告画面が 2 秒間表示されます。
- イベントの説明が 5 秒間表示されます。
- 警告画面の後に走行画面に戻り、ステータスバーのサービスインジケータが点灯します。

クイックトラブルシューティングの手順

1. イベントの説明をメモします。
2. システムの電源を切ります。
3. 明らかに原因と考えられる箇所を目で確認します。
4. 安全に行うことが可能であれば、その問題の原因を取り除きます (例: 誤って設置されていたバッテリーの再度取り付け)。

システムの電源を入れ直します。問題が解決している場合：

- 通常に使用することができます。
- 認定ディーラーでサービスチェックをスケジュールします。

問題が再発する場合は：

- 手順 1-4 を繰り返します。

それでも問題が解決しない場合：

- 走行を中止します。
- 正規取扱店/販売店に連絡し、修理を依頼します。

3.3.5 RideControl GO

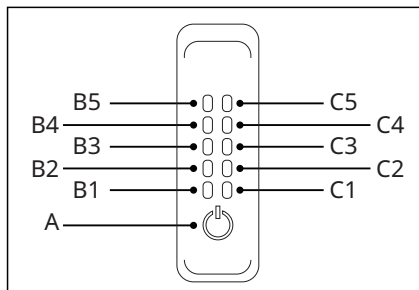
RideControl Go は、トップチューブに統合された多目的コントロールボタンです。オン/オフボタンと色付きの LED ライトが特徴で、サポートモードとバッテリーレベルを示します。

- A. 電源オン/オフボタン/マルチカラー LED
- B. パワーアシストインジケータ (マルチカラー LED 5 個)
- C. バッテリーレベルインジケータ (マルチカラー LED5 個)



情報

RideControl Go は、追加の RideControl Ergo タイプおよび RideDash 画面と組み合わせて使用できます。詳細は、最寄りの正規取扱店/販売店にお問い合わせいただくか、または Giant のウェブサイトでご覧ください。



電源オン/オフ

- ・「電源オン/オフ」ボタン (A) を押して、システムの電源を入れます。
- ・電源を入れると、すべての LED インジケータが最初に白く点灯します。
- ・2秒後、インジケータにデフォルトのパワーアシストレベルとバッテリーレベルが表示されます。
- ・「電源オン/オフ」ボタン (A) を 3 秒間押し、ボタンを離してシステムの電源を切ります。
- ・電源を切ると、すべての LED インジケータが点灯し、白く点滅し、システムの電源がオフになります。



情報

Shimano モーターの場合、「電源オン/オフ」ボタン (A) を 0.5 秒間押し続けて、システムの電源を入れます。

パワーアシストレベル

スマートアシスト(AUTO)

SyncDrive モーターは、出力を状況に合わせて自動的に調整し、乗り心地と航続距離を最適化します。

- ・「電源オン/オフ」ボタン (A) を 2 回押して、スマートアシストを有効にします。
- ・パワーアシスト表示 LED B3 が青色に点灯し、スマートアシストが有効であることを示します。
- ・RideDash が接続されている場合、スマートアシストレベルは画面上に「AUTO」と表示されます。
- ・「電源オン/オフ」ボタン (A) を押して、スマートアシストを無効にし、手動アシストレベルの選択に戻ります。



情報

スマートアシストモードは一部のモデルではご利用いただけません。

アシストレベル 1-5

パワーアシストレベルを手動で選択します。

- ・「電源オン/オフ」ボタン (A) を押して、アシストレベルを変更します。
- ・目的のアシストレベルが選択されるまで繰り返します。

パワーアシストインジケータ LED (B1-B5) は、選択したレベルを次のように示します：

アシストレベル	LED オン	LED カラー
パワー	1+2+3+4+5	レッド
スポーツ	1+2+3+4	オレンジ
アクティブ	1+2+3	イエロー
ツアー	1+2	グリーン
エコ	1	グリーン
スマートアシスト (AUTO)	3	ブルー
オフ	全てオフ	オフ

- POWERレベル：Power Assist が最も強く、エネルギー消費量が最も多いレベル。
- ECOレベル：パワーアシストが最も低いが、距離範囲が最も高いレベル。



情報

アシストレベルのオプションはバイクモデルによって異なります。

アシストオフ

電動アシストを使用せず、サイクルコンピューターとライト機能を使用して走行する場合です。

- すべてのパワーアシストインジケータ LED (B) がオフになるまで、「電源オン/オフ」ボタン (A) を押します。
- モーターアシストがオフになります。
- 他のすべてのシステム機能は使用することができます。

バッテリーレベル

EnergyPak の残りのエネルギーレベルは、バッテリーレベルインジケータ LED (C1-C5) で示されます。

バッテリーレベル	LED オン	LED カラー
80~100%	1+2+3+4+5	ホワイト
60~79%	1+2+3+4	ホワイト
40~59%	1+2+3	ホワイト
20~39%	1+2	ホワイト
10~19%	1	ホワイト
4~9%	1	オレンジ
0~3%	1	オレンジ点滅



注記

バッテリーの電力が 1% 未満になると、パワーアシストはオフモードに切り替わります。ライトシステムは最低 2 時間は機能し続けます

システムイベン

システムイベント(誤動作)の場合、RideControl Go はイベントの表示を表示します。

- すべてのアシストおよびバッテリー残量表示 LED が白く 3 回点滅します。
- パワーアシストレベルインジケータ LED (B1-B5) が点滅を開始し、イベントを示します。

イベント	LED オン	LED カラー
EnergyPak エラー	1	レッド点滅
SyncDrive エラー	2	レッド点滅
速度センサーエラー	3	レッド点滅
Smart Gateway / Remote / Display エラー	4	レッド点滅
モーターがオーバーヒート	5	レッド点滅

クイックトラブルシューティングの手順

1. どのパワーアシストレベルインジケータ LED が点滅しているかに注意してください (B1-B5)。
2. システムの電源を切ります。
3. 明らかに原因と考えられる箇所を目で確認します。
4. 安全に行うことが可能であれば、その問題の原因を取り除きます (例: 誤って設置されていたバッテリーの再度取り付け)。

問題が解決している場合:

- 通常に使用することができます。
- 正規取扱店/販売店での定期点検の予定を組みます。

問題が解決しない場合:

- 手順 1-5 を繰り返します。

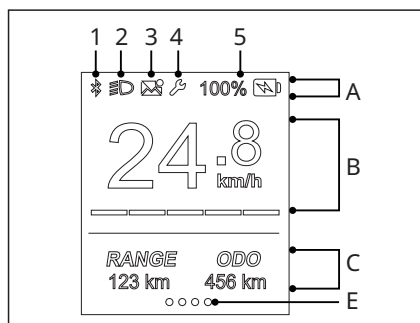
それでも問題が解決しない場合:

- 走行を中止します。
- 正規取扱店/販売店に連絡し、修理を依頼します。

3.3.6 RideDash EVO

RideDash EVO は、ハンドルバーの中央に取り付けた美しいカラフルな大画面で、バイクやライドに関する様々な情報をライダーに提供します。RideControl Ergo シリーズで操作可能なこの画面には、速度、距離、バッテリーステータス、残り距離、およびその他の役立つ情報がはっきりと大きく表示されます。

- A. ステータスバー
 - B. データフィールド
 - C. アシストレベルインジケータ
 - D. サブデータフィールド
 - E. 選択ページインジケータ
1. ワイヤレス接続
 2. ライトステータス
 3. 電話通知
 4. サービス
 5. バッテリーステータス



ステータスバー

ステータスバー (A) には、常にバッテリーの状態 (5) が表示されます。その他のアイコン (1-4) は、機能がアクティブの場合にのみ表示されます。

1. ワイヤレス接続: RideControl アプリを使用した自転車とスマートフォン間の有効なワイヤレス接続を示します。
2. ライトステータス: ライトのアイコンは、バイクのライトが点灯していることを示します。
3. 通知: スマートフォンに新規または未読のメッセージがあることを示します。RideControl アプリ経由のみです。
4. サービスインジケータ: サービスインジケータ (レンチのアイコン) は、定期メンテナンスの時期になった場合、またはシステムイベント (不具合) が発生した場合に表示されます。
5. バッテリー残量インジケータ: バッテリー残量インジケータは、EnergyPak の現在の充電残量 (100%-0%) が表示されます。
 - バッテリー残量が 3% 以下になると、バッテリーのアイコンが点滅し始めます。最低アシストレベルに切り替わります。
 - バッテリー残量が 1% 以下になると、バッテリーのアイコンが点滅します。電動アシストはシャットダウンされます。それでも、ライトシステムは少なくとも 2 時間は機能し続けます。



情報

本マニュアルに記載される RideControl アプリの機能の一部は、現時点ではご利用いただけない場合があります。アプリのバージョン、Eバイクのモデル、コンポーネントのハードウェア/ファームウェアのバージョン、スマートフォンの使用、オペレーティングシステムなどにより、互換性およびご利用いただける機能が異なる場合があります。

メインデータフィールド

メインデータフィールド (B) は現在の速度を示します。

サブデータフィールド

サブデータフィールド (D) は、4 ページに分割された詳細情報を示します。

1 ページ (初期設定) :

- RANGE: 現在のアシストレベルにおける推定航続可能距離。*
- ODO: 使用開始時から今までの総走行距離。

2 ページ:

- DIST: 最後にリセットした時からの走行距離
- TRIP: 最後にリセットした時からの走行時間。

3 ページ:

- AVG スピード: 最後にリセットした時からの平均速度。
- MAX スピード: 最後にリセットした時からの最高速度。

4 ページ:

- CAD: 現在のペダリング速度 (rpm) (1分あたりの回転数)。
- RANGE: 現在のアシストレベルにおける推定航続可能距離。*

* 走行距離は推定の値です。地形の特性、風の強さ・方向など、走行中の様々な状況により、実際の走行距離は異なる場合があります。

ページを選択するには

すべての RideControl Ergo コントロールをオンにするには:

- 目的のページが表示されるまで、「情報」ボタンを押します。
- 「情報」ボタンを放します。

ページインジケータ

ページインジケータ (E) は、サブデータページの数を表示し、現在選択されているページを強調表示します。

アシストレベルインジケータ

アシストレベルインジケータ (C) は、現在選択されているアシストレベルを、色が異なる 5 本のバーの列として視覚的に表します。

アシストレベルのオプション*

- ・ オフ
- ・ エコ
- ・ ツアー
- ・ アクティブ
- ・ スポーツ
- ・ パワー
- ・ スマートアシスト (AUTO)

* アシストレベルの利用可能性およびレベルごとのパワーレシオは、SyncDrive モーターの種類や工場出荷時のシステム設定によって異なります。画面には、新しいアシストレベル名および推定航続可能距離が 2 秒間表示されます。その後、画面は更新されたレベルインジケータに戻ります。

設定

メートル法と/インペリアル法の間で表示単位の変更。

すべての RideControl Ergo コントロールをオンにするには：

- ・ 「情報」ボタンを 5 秒間押し続けます。

サブデータフィールドのリセット

すべての RideControl Ergo コントロールをオンにするには：

- ・ DIST、TRIP、AVG スピード をクリアするには
 - ・ 「パワーアシストアップ」ボタンと「パワーアシストダウン」ボタンを同時に 3 秒間押し続けます。
- ・ MAX スピード をクリアするには
 - ・ MAX スピード データフィールドまでスクロールします。
 - ・ 「パワーアシストアップ」ボタンと「パワーアシストダウン」ボタンを同時に 3 秒間押し続けます。

画面の明るさを低・中・高に変更

RideControl Ergo：

- ・ 「ウォークアシスト」ボタンを 2 秒間押し続けると、次の輝度レベルに変わります。
- ・ 2 秒後にボタンを放します

RideControl Ergo 2：

- ・ 「ライト」ボタンを押して、次の輝度レベルに変更します。

RideControl Ergo 3：

- ・ 「ライト」ボタンを押して、次の輝度レベルに変更します。

システムイベント

不具合が発生すると、システムイベント警告画面が表示されます：

- ・ 警告画面が 2 秒間表示されます。
- ・ イベントの説明が 5 秒間表示されます。
- ・ 警告画面の後に走行画面に戻り、ステータスバーのサービスインジケータが点灯します。

クイックトラブルシューティングの手順

1. イベントの説明をメモします。
2. システムの電源を切ります。
3. 明らかに原因と考えられる箇所を目で確認します。
4. 安全に行うことが可能であれば、その問題の原因を取り除きます (例: 誤って設置されていたバッテリーの再度取り付け)。

システムの電源を入れ直します。問題が解決している場合:

- ・ 通常に使用することができます。
- ・ 認定ディーラーでサービスチェックをスケジュールします。

問題が再発する場合は:

- ・ 手順 1-4 を繰り返します。

それでも問題が解決しない場合:

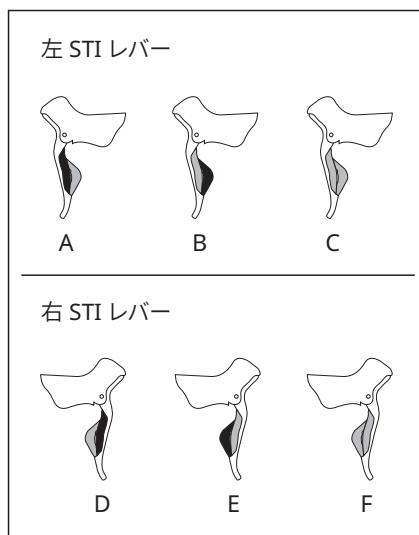
- ・ 走行を中止します。
- ・ 正規取扱店/販売店に連絡し、修理を依頼します。

3.3.7 Shimano STI レバー

ボタンの機能は、RideControl アプリを使用して設定できます。STI レバーは特定のモデルでのみ使用できます。

Shimano STI レバー機能レバー

- A. アシストアップ
- B. アシストダウン
- C. リアシフトアップ
- D. リアシフトダウン
- E. リアシフトアップ
- F. リアシフトダウン



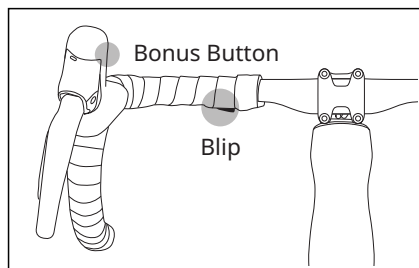
3.3.8 Sram AXS ボーナスボタン/ブリップ

Sram AXS ボーナスボタン/ブリップ は、直感的なドロップバーコントロールを実現する統合されたリモートボタンです。当社のEシステムでは、走行中のアシストレベルの切り替えに使用できます。

- A. 左ボタンを押します：アシストレベルが下がります。
- B. 右ボタンを押します：アシストレベルが上がります。
- C. 左ボタンと右ボタンを同時に押します：スマートアシスト（オート機能）。

Sram アプリとペアリングすると、個人的なボタン設定が可能になります。以下のボタンと機能を定義するには、Sram アプリの手順を参照してください。

番号	説明
ANT+ 機能キー 1	アシストレベルが下がります
ANT+ 機能キー 2	アシストレベルが上がります
ANT+ 機能キー 3	スマートアシスト（オート機能）



3.3.9 サードパーティデバイス

当社のEバイクシステムでは、以下の条件でサードパーティデバイスの設置が可能です。

デバイスの互換性

以下の要件に準拠するデバイスは、当社のシステムを通じて電力を供給できます。

- ・ 正しいコネクタ仕様を使用する
 - ・ サードパーティデバイスコネクタの種類：JST 02T-JWPF-VSLE-S
- ・ 指定された電源仕様に準拠する
 - ・ 電圧範囲：25~54.6 VDC
 - ・ 最大電流：50 mA
 - ・ 最大電力：2.0 Watt



通知

- ・ デバイスに過電力を与えないようにしてください。潜在的な損傷を防ぐために、電源仕様を参照し、コネクタを適切に使用してください。
- ・ 改ざんされたデバイスをEバイクに取り付けることは許可されていません。詳細については、第 7.4 章の免責事項を参照してください。

デバイスの適合性

- ・ デバイスの適合性はケースバイケースで評価されます。ブラケットおよび/または付属品はデバイスのベンダーから提供されます。

3.4 キー

一部のモデルには、バッテリーロックやバイクロック用の同一のキーを 2 本標準装備しています。そのキーのいずれかがなければ、ロックが外せません。



注記

- ・ メンテナンスや修理で取扱店/販売店を訪れる場合は、必ずキーをお持ちください。
- ・ キーとキー番号のタグは、バイクのフレーム番号や他の書類と一緒に保管してください。
- ・ 資格のある錠前屋にオリジナルキーの予備のスペアを作ってもらい、別のところに保管することをお勧めします。

3.5 走行距離

1回の充電の範囲は、次のようないくつかの状況に大きく依存します（ただしこれらに限定されません）

- ・ ライダー、同乗者、バイクに乗せた荷物を含めた車両総重量。
- ・ 天候（周囲温度や風など）。
- ・ 道路状況（高度や路面など）。
- ・ バイクの状態（タイヤ空気圧やメンテナンス状況など）。
- ・ 充放電サイクルの回数。
- ・ EnergyPak の使用年数および状態。
- ・ バイクの使用（加速やシフティングなど）。
- ・ 使用するアシストレベル。
- ・ アシストレベルのユーザー設定（スマートフォンアプリ使用）。

4 運搬および保管

運搬



注意

- ・充電器や EnergyPak などの着脱式 (電子) パーツは、必ずEバイクから取り外した上で運搬する必要があります。
- ・Eバイク運搬に使用する車両や自転車用キャリアのメーカーによる取扱説明書には、必ず従ってください。



注記

- ・Eバイクを悪天候の中で運搬するのは、できるだけ遠慮ください。
- ・悪天候での運搬が避けられない場合は、露出するすべての電子部品を、運搬中に適切に保護してください。
- ・風雨の中スピードを出すと、圧力により水滴が電子部品に入り込み、一次的な不具合や永久的な欠陥が生じる場合があります。
- ・こうした状況下での運搬後に不具合が生じた場合は、目的地についたら EnergyPak を取り外し、パーツをすべて自然乾燥します。

Eバイクの保管

できるだけ、Eバイクが風雨にさらされない場所に保管してください。



注記

- ・雪、雨、道路用塩や酸によって、Eバイクパーツの一部に腐食や劣化が起こる場合があります。
- ・太陽からの紫外線はバイクの色あせや、ゴムやプラスチック部品に細かい穴、亀裂をおこす可能性があります。
- ・保管中、過度に高い/低い温度に曝されると、一次的な不具合、または永久的な欠陥が生じることもあります。

バッテリーの保管

長期保管するには、EnergyPak の接続を切ってバイクから取り外します。



注意

- ・EnergyPak は、乾燥した安全な場所に保管してください。
- ・EnergyPak はを環境温度が $-20^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F}\sim 122^{\circ}\text{F}$) の間で保管してください。
 - ・ $-20^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F}\sim 122^{\circ}\text{F}$): 1 ヶ月以内の保管用。
 - ・ $-20^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F}\sim 104^{\circ}\text{F}$): 1~3 ヶ月の保管用。
 - ・ $-20^{\circ}\text{C}\sim 20^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F}\sim 68^{\circ}\text{F}$): 3~12 ヶ月の保管用。



注記

- 適切な温度で EnergyPak を保管しないと、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。
- EnergyPak は、充電量約 60% で保管してください。
- Eバイクを長期間保存する時は、EnergyPak の充電量を毎月チェックしてください。
- 充電量が 60% 未満になったらEnergypakを充電します。
- EnergyPak は、少なくとも 3 カ月ごとに充電してください。
- EnergyPak を間違った方法で保管したり、長期間放置したりすると、容量の低下や欠陥が生じる可能性があるほか、製造保証が無効となる場合があります。

5 メンテナンス

定期メンテナンスとクリーニングは、最高のパフォーマンスや安全のために欠かせないものです



資訊情報

請確保務必閱讀網站上和普通自行車使用者手冊中的維護資訊。

お手入れ

柔らかい布やブラシにお好みで少量の中性洗剤をつけ、汚れを拭き取ります。その後、柔らかい清潔な布で乾拭きします。



注意

- ・洗浄に高圧水や高圧エアホースを使用しないでください。(密封された) 電子部品に水が侵入し、不具合や欠陥を引き起こす恐れがあります。
- ・水を多量に使用してEバイクの部品を洗浄しないでください。内蔵電子部品に水が進入した場合、不具合その他の問題を引き起こす可能性があります。



注記

部品の洗浄には、中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。中性洗剤以外の洗剤は、素材の劣化、変色、歪み、傷などの原因となる恐れがあります。

ドライブトレイン



警告

チェーンの張りを点検する時は、必ずバッテリーを取り外してください。システムに電源が供給された状態でドライブトレインに手(または手以外の身体の一部)を触れると、モーターが急に作動することがあります。

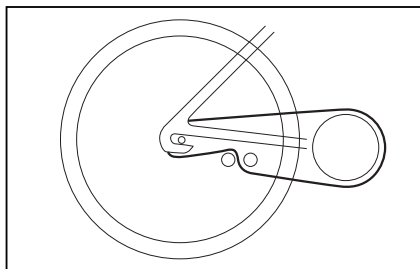


注意

- ・調整や交換作業はすべて、適切な工具を使用して行う必要があります。またそれらを行えるのは、適切な訓練を受けた整備士のみとなります。
- ・お使いのEバイクの技術的なメンテナンスに関する詳細やサポートについては、担当の取扱店/販売店までお問い合わせください。

チェーンの張り

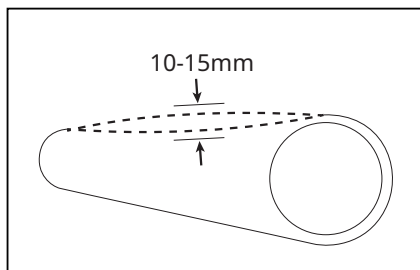
一部のモデルでは、リアホイールにギアハブが内蔵されています。適切なチェーンの張りを維持する自動チェーンテンショナーが装備されている場合もあります。チェーンがかなり緩んでいる場合は、張りを調整するか、または摩耗したチェーンの交換が必要となる場合があります。



チェーンの張りの点検方法

チェーンの張りを点検するには、クランクアームを回らないようにした上で、フロントスプロケットとリアスプロケットの間、チェーンの真ん中にあたる部分を持ちます

- ・チェーンを上下に動かし、チェーンの緩みを点検します。
- ・上下に 10-15mm 動かせる状態が適切な状態です。
- ・この動きに大幅な大小が生じる場合は、担当の取扱店/販売店にお問い合わせの上、技術サービスをご依頼ください。



ベルトドライブ

技術仕様および技術要件については、Eバイクに同梱されているベルトドライブのメーカーの取扱説明書をお読みください。ベルトドライブが装備されているすべてのモデルに、ベルトの張りを調整するためのスライド式リアドロップアウトと張り調整用のねじが装備されています。ベルトドライブの調整手順は、チェーンの調整手順と同じです。

6 廃棄



欧州議会の指令 2006/66/EC によると、欠陥のあるまたは使用済みのバッテリー、バッテリーパック、または単一のセルは、別々に収集し、環境に優しい方法で廃棄する必要があります。

使用済みのセルとバッテリーはリサイクル可能な経済的なアイテムです。取り消し線が引かれたゴミ箱を示すマークに従い、これらのバッテリーは家庭ごみとして処分することはできません。



注記

- 使用済みバッテリーは有害廃棄物として処理する必要があります。
- バッテリーは、関連する国の環境保護規則に従って廃棄する必要があります。
- バッテリーをリサイクル施設または Giant の認定ディーラーに返却してください。
- よくわからない場合は、Giant のカスタマーサービス部門に連絡してください。

7 法的書類

7.1 保証

Giant/Liv/Momentum は最初の所有者に対し、下記の指定期間、新しい各 Giant/Liv/ Momentum ブランドのバイクのフレーム、リジッドフォークまたは構成部品において、材料および製造上の欠陥がないことを保証します。

以下を含む電子機器に対しては 2 年間の保証:

- RideControl のディスプレイとボタン
- SyncDrive モーター
- EnergyPak バッテリー: 最大 600 回の充電で公称容量の 60%。
- 配線

許容総荷重はバイクの仕様や走行シナリオによって変化する可能性があるため、Eバイクの最大荷重についてはフレームの規制ラベルを参照してください。

その他のすべてのパーツおよびコンポーネントについては、このEバイクと共に納品される一般的なユーザーマニュアルで言及しています。ユーザーマニュアルは問題が発生した場合に有用です。以下および除外 53 ページの情報は、参照のみを目的としています。

購入時には組み立てが必要です

本保証は Giant/Liv/Momentum 正規取扱店/販売店で新しく購入され、購入時に取扱店/販売店によって組み立てられたバイクとフレームセットにのみ適用されます。

限定的救済

特段の記載がない限り、上記の保証または黙示の保証に対する唯一の救済手段は、Giant/Liv/Momentum の単独の裁量によって同等またはそれ以上の価値のものと欠陥部品の交換に限定されます。本保証は購入日より発効し、最初の所有者にのみ適用されます。譲渡はできません。人身傷害による損害、物的損害、経済的損失を含むがこれらに限定されないいかなる直接的、偶発的もしくは派生的損害についても、契約、保証、怠慢、製造物責任もしくはその他の法理論に基づくものであれ、Giant/Liv/Momentum は一切責任を負いません。

Giant/Liv/Momentum は明示または黙示を問わず、他の一切の保証を行いません。商品性および特定目的への適合性を含む、すべての黙示的な保証は、上記に明記されている保証期間に限定するものとします。本保証に対するいかなる請求も、Giant/Liv/Momentum 正規代理店を通じて行うものとします。保証請求の処理を進める前に、購入時の領収書もしくは購入日を証明するものがが必要です。購入した国以外で行われる請求は、手数料や追加の制限事項が適用される場合もあります。保証期間と詳細はフレームのタイプや国によって異なる場合があります。本保証は、お客様に対して特定の法的権利を付与するものですが、お住まいの地域により、その他の権利が付与される場合があります。本保証は、お客様の法的権利には影響しません。

7.2 除外

組み立てや材料の欠陥がない状況でのタイヤ、チェーン、ブレーキ、ケーブル、歯車などの部品の通常の摩耗。

- Giant/Liv/Momentum 認定ディーラー以外のバイク。
- 元の状態から改造したもの。
- 自転車の通常使用とは異なる状況での使用、競技、商業活動、もしくは設計された目的以外でのバイクの使用。
- ユーザーマニュアルに従わなかったことに起因する損傷。
- 大会、ジャンプ、ダウンヒル、またはこのようなアクティビティやイベントに向けたトレーニングに参加することに起因する、もしくはバイクを過酷な条件や気候にさらしたり、そのような状況で走行したことに起因する塗装の仕上げおよびデカールの損傷。
- パーツの交換や切り替えにかかった人件費。

本保証に定める場合を除き、Giant/Liv/Momentum およびその従業員および代理人は、Giant/Liv/Momentum バイクに起因または関連するいかなる損失または損害（過失または不履行に起因する付随的損失・損害および派生的損失・損害を含みます）に対しても責任を負わないものとします。

7.3 適合性



サポートされる最高速度が 45km/h のハイブリッド電動自転車は、L1e-B カテゴリーの車両に関するEU指令 168/2013/EC の要件を満たします。

サポートされる最高速度が 25km/h のハイブリッド電動自転車は、EU機械指令 2006/42/EC の要件を満たします。

ライダーの耳元でのA特性音圧レベルは、70dB(A) 未満です。これらの自転車は以下の非整合規格にも準拠します。

- 自転車規格: ISO 4210-2
- 電動自転車: EN 15194

ご手元のEバイクの適合宣言は、このユーザーマニュアルに記載されています。

7.4 免責事項

バイクを改造しないでください。改造とは、標準装備の取り外しや交換、もしくはその他の方法でバイクの設計や動作を変える可能性のある変更をバイクに加える行為です。これに該当する変更は、バイクの操作性、安定性、その他の側面を深刻に損ない、バイクを安全にお使いいただけない状態に変える可能性があります。また改造により、保証書が無効になったり、適用される法律や規制にバイクが適合しなくなったりする可能性があります。安全性、品質、信頼性を保証するため、修理や交換には、Giant/Liv/Momentum 純正部品または Giant/Liv/Momentum 認定交換部品のみを使用してください。Giant/Liv/Momentum は、身体の障害、財産の損害、経済損失を含むがこれらに限定されない直接的、付随的、または結果的損害の責任を負いません。

